

“卵焼き”より“玉子焼き”

～日本語のゆれに関する調査（2013年3月）から①～

メディア研究部 塩田雄大 / 山下洋子

2013（平成25）年3月におこなった「日本語のゆれ調査」の結果の一部について、考察を加えながら2回に分けて報告する。

- ▼「ウ」に濁点を付けて表記する「ウ濁」は、高年層ではあまり用いられない傾向が見られる。
- ▼「回転すし」と書いて「カイツェンズシ」と言うような「表記と発音の不一致」はどの年代でも一定程度を占めているが、全体としては「回転ずし」と書いて「カイツェンズシ」と言うという「表記と発音の一致」が優勢であり、その割合は若い年代になるほど高くなっている。
- ▼「からあげ」の漢字表記は、若い年代になるほど「唐揚げ」が多く選ばれている。
- ▼「たまごやき」「しょうゆ」を「卵焼き」「正油」と書くのは、女性のほうが多い。
- ▼「ご理解【くださいますよう】お願いいたします」という言い方が比較的高年層に多く選ばれているのに対して、「ご理解【いただけますよう】お願いいたします」は若い年代に多い。
- ▼「事実を【知れて】よかった」「あの映画には【感動できた】」など、従来はさほど見られなかったような可能表現の使用が、若い年代によく見られる。

「たまごやき」ということばは、一般には「卵焼き」と書かれたり「玉子焼き」と書かれたりする。このように、同じもの・同じことを表現するのに複数の言い方・書き方などが一つの時代・一つの社会で共存している状態のことを、「ことばのゆれ」と呼ぶ。

本稿では、2013（平成25）年3月におこなった「日本語のゆれ調査」（39項目、全国満20歳以上の男女1,241人回答、詳細は稿末の単純集計表参照）の結果のうち、特に興味深い傾向を示した項目について取り上げ、考察を加えながら2回に分けて報告する。次号（10月号）では、放送にかかわる日本語文の解釈や「ら抜きことば」、また言語意識に関連することについて取り上げる予定である。

今回の稿は、第1章を山下が、それ以降の章を塩田が執筆した。

1. 語形・表記上の問題

1.1 外来語の表記（「ハ濁」と「ウ濁」）

原音に[v]の音が含まれる外来語についてテレビ画面に示す文字（字幕スーパー）で見る表記としてどちらがよいと思うかを聞いた。調査語は次の6語である。

live	「ライブ」「ライヴ」
Louvre	「ルーブル」「ルーヴル」
violin	「バイオリン」「ヴァイオリン」
Beethoven	「ベートーベン」「～ヴェン」
Venezia	「ベネチア」「ヴェネチア」
vocal	「ボーカル」「ヴォーカル」

今回の調査語は6語とも「バ・ビ・ブ・ベ・ボ」（以下、「ハ濁」という）で表記するのが一般的である。もともと日本語には[v]の音はないため、[v]を含む外国語を日本語に外来語として

取り入れる場合、「ハ濁」で発音・表記することになっている。

原音の[v]をカタカナで書き表すには「ヴァ・ヴィ・ヴ・ヴェ・ヴォ」と書き表す方法（以下、「ウ濁」という）もある。たとえば、「Beethoven」は、1つの人名の中に[b]と[v]が含まれているが、[b]の音を「ハ濁」で、[v]の音を「ウ濁」で書き表し、原音[b]と[v]をカタカナの表記で区別しようとすることがある。それが「ベートーヴェン」という表記である。音楽番組など、専門的な場面で使われることが多い。しかし、「ベートーヴェン」と書いても、日本人が普通に発音すると「ベートーベン」になる。「ウ濁」は[v]と[b]が別の音であることを示すために幕末ごろに作られ、明治、大正期に普及した一種の音声記号である（榎垣実（1963））。

NHKでは、外来語は発音したとおりにカタカナで書き表すこと（表音一致）を前提としている。そのため、[v]も[b]も「ハ濁」で書き表す¹⁾（山下洋子（2013））。新聞社・通信社および国の外来語の表記のルールもほぼ同じである²⁾。

1.1.1 調査の結果

調査語6語いずれも「ウ濁」よりも「ハ濁」が多い結果になった。

語ごとに見る。「live」は6語の中でいちばん「ハ濁」を選ぶ人が多かった（ウ濁：12%、ハ濁：81%、どちらでもよい：7%）。年代、性別による差も見られない。

「vocal」は、今回の調査語の中で「ウ濁」を選ぶ人がいちばん多い語だった（ウ濁：33%、ハ濁：58%、どちらでもよい：8%）。50代、60歳以上の高年層は「ハ濁」が多いが、若年層、中年層では、「ウ濁」と「ハ濁」の差があまりない（図1）。

「vocal」のほか、「Louvre」「violin」「Beethoven」「Venezia」でも年代差が見られ、特に20代で「ウ濁」を選ぶ人が増えている。「Louvre」は20代で、「ハ濁」より「ウ濁」が多い（図2）。

男女別に見ると「Louvre」は女性のほうが「ウ濁」が多い（男性ウ濁：22%、女性ウ濁：31%）。そのほか「Beethoven」と「Venezia」は男性20代で「ウ濁」が「ハ濁」よりも多い。

6語の結果を表記別にまとめなおしてみる。

図1 「ボーカル」か「ヴォーカル」か（年代別）

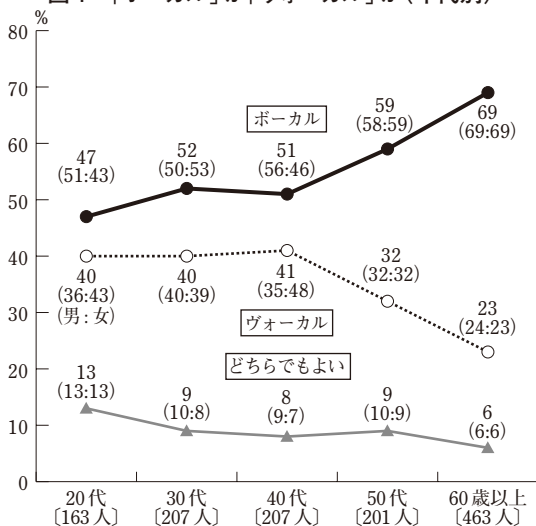


図2 「ルーブル美術館」か「ルーヴル美術館」か（年代別）

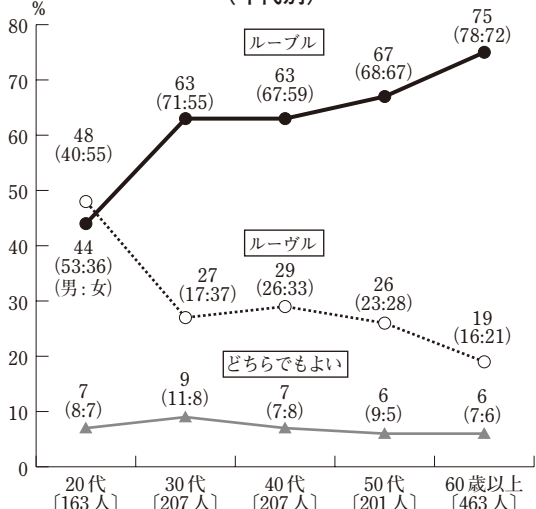
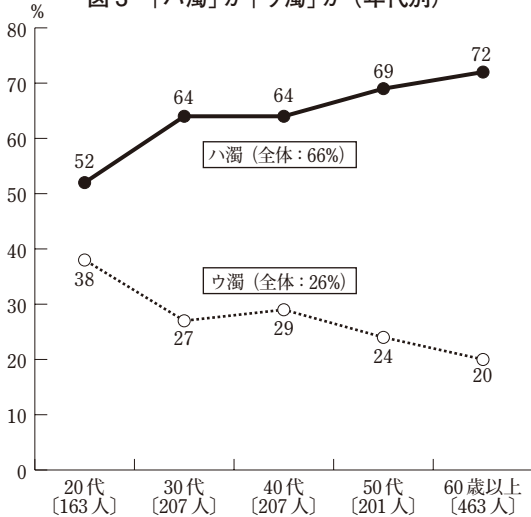


図3 「ハ濁」か「ウ濁」か（年代別）



「ハ濁」が多く、「ウ濁」が少ないが、年代がさがるほど「ウ濁」が多くなり、「ハ濁」との差が少なくなる（図3）。

なお、学歴による差も見られる。

	非大卒 [731人]	大卒 [506人]
ハ濁	71%	60%
ウ濁	22%	31%

1.2 その他の外来語表記

韓国、中国の料理および材料の表記・読みを聞いた。聞いた語は次の3つである。

「チジミ」「チヂミ」
「豆板醬」「トウバンジャン」「トーバン〜」
「杏仁豆腐」「アンニン〜」「キョーニン〜」

1.2.1 韓国料理「チジミ／チヂミ」

韓国料理で、日本のお好み焼きのような料理の名称である。「チジミ」「チヂミ」などと表記される。これを放送でどう表記すべきだと思うかを聞いた。

NHKでは、この料理をどう表記するか決めていないが、2013年7月29日放送の『ニュース

7』では、「チジミ」という字幕が出された。「外来語の表記」の原則どおりに書き表すとすれば「チジミ」という表記になる。国では「外来語の表記」に用いるカナを決めているが、「ヂ」はその中には含まれておらず、「ジ」を用いることになっているためである。しかし、一般には「チジミ」よりも「チヂミ」の表記を目にする機会が多い。NHKでも『きょうの料理』などの料理番組では「チヂミ」の表記が使われている。また、NHK以外のメディアでの使い方を見ると、やはり「チヂミ」と表記される場合が多い。新聞社・通信社（共同、朝日、読売、毎日、産経、東京）で、ここ1年間に「チジミ・チヂミ」を使った記事は120件で、ほとんどすべてが「チヂミ」の表記を使っていた（G-search, 2013.7.8検索）³⁾。

また、国語辞典の立項も「チヂミ」が多い。平成以降に出版された国語辞典のうち18冊を調べた。立項があるのが9冊。そのうち、主見出しが「チジミ」なのは2冊、「チヂミ」は7冊である⁴⁾。インターネットでも「チヂミ」が多い。

gooによる検索

チジミ（チヂミ、縮みを除く）：2万2,500件
チヂミ（チジミ、縮みを除く）：28万件

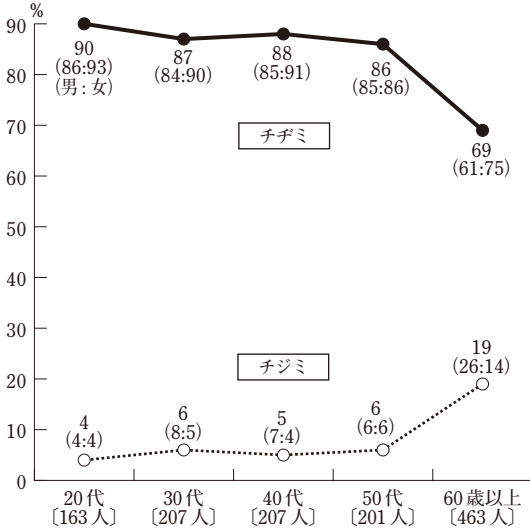
調査の結果でも「チヂミ」の表記を選ぶ人が多かった。

チジミ	11%
チヂミ	81
どちらでもよい	7

このことばを知らないという人は、年代、性別に関係なく、いずれも少ない（1%）。いずれの年代も「チヂミ」が多いが、若い人ほど、「ヂ」を選ぶ割合が高く、60歳以上では、「チジミ」の割合が増えている（図4）。

男女別には、女性のほうがやや「ヂ」が多く、男女年代別には、女性の若い年代ほど「チヂ

図4 「チジミ」か「チヂミ」か (年代別)



ミが多い。学歴による差も出ている。

	非大卒 [731人]	大卒 [506人]
チジミ	13%	7%
チヂミ	77%	86%

インターネットでの検索内容を見るとレストランでのメニューや商品として売り出されているものでも、「チヂミ」という表記が多い様子が見られる。

「チヂミ」の表記が違和感なく取り入れられているのは、現代仮名遣いで「縮む」を「ちぢむ」と書くためとも考えられる。外来語では「ヂ」のかなは認められていないが、現代仮名遣いでは、一部「ぢ」の表記が認められている⁵⁾。

1.2.2 中国料理の調味料「豆板醬」の表記

中国料理の調味料として使われる辛みそ「豆板醬」をどう書き表すのがよいと思うかを聞いた。

この語については、放送で使う発音・表記についての決定がある。

第1235回放送用語委員会 (2002.6.27)
 ○トウバンジャン ×ドウバンジャン
 (発音は「トーバンジャン」)⁶⁾

「豆瓣醬」「豆板醬」などの漢字表記もあるが、中国語から取り入れた外来語のため、NHKでは漢字表記はせず、カタカナで表記する。この決定以前は、NHKの料理番組『きょうの料理』を中心に、「ドウバンジャン」の表記が使われることもあった。この表記は中国語のピンイン表記「doubanjiang」を日本語式のローマ字読みにしたものである。

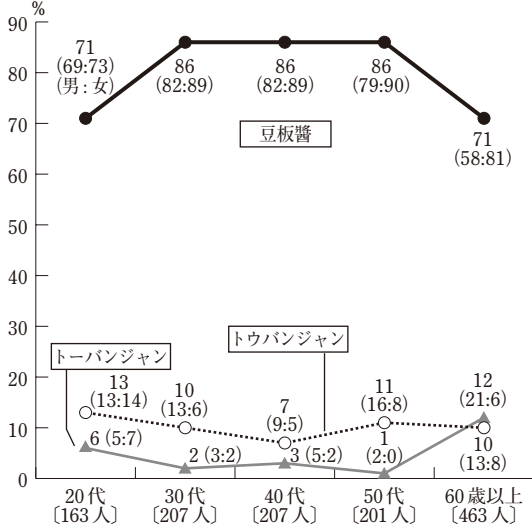
平成以降に出版された国語辞典のうち18冊を調べた。立項のある辞典は9冊。そのうち「トウ～」の表記を採用しているものは4冊、「トー～」の表記を採用しているものは5冊である。国語辞典でも2とおりの表記でゆれがおきている。漢字表記は、日本では「板」の字が使われることが多いが、『中日辞典』(小学館・1992)では「瓣」(「弁」の旧字)が使われている。国語辞典でも「板」と「瓣」を併記しているものもある。今回の調査では、日本で一般的に使われている漢字表記「豆板醬」とカタカナ表記「トウ」「トー」の中でどの表記がいいと思うかを聞いた。

調査の結果、漢字表記を選ぶ人が多く、「トウ」「トー」が続いた。

豆板醬	78%
トウバンジャン	10
トーバンジャン	7
どれでもよい	4

男女による差があり、女性のほうが漢字表記を選ぶ人が多く、男性のほうがカタカナ表記を選ぶ人が多い。特に、年代があがると男女差が広がる(図5)。比較的新しい外来語であるため、知っている年代とそうでない年代で差が出たとも考えられる⁷⁾。また、料理をとおして、このことばになじんでいる女性とそうでない男性で差が出たのだろう。

図5 「豆板醬」の表記と読み（年代別）



1.2.3 中国のデザート「杏仁豆腐」の

読みと表記

「杏仁豆腐」は「アンニンドーフ」「キョーニンドーフ」と2とおりの読みがある。中国の料理名だが、中国語の原音読みとは異なる⁸⁾。「アン」も「キョウ」も「杏」の音読みであるため、外来語の問題ではなく、「漢字音のゆれ」の問題として考える。

「杏」の読み
 訓読み あんず
 音読み 漢音「コウ」、呉音「ギョウ」
 唐音「アン」、慣用音「キョウ」

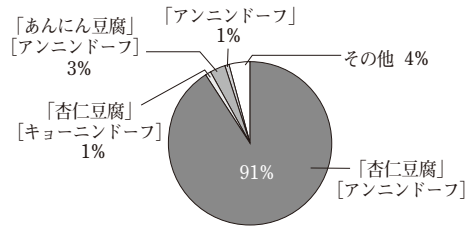
NHKの放送で使う場合の決まりは今のところないが、『きょうの料理』などでは「杏仁豆腐」と書いて「アンニンドーフ」と読んでいることが多い⁹⁾。

「豆腐」がつかない「杏仁」は漢方薬の一種で、古くから2とおりの読みが使われている。過去の用例がくわしく載っている『日本国語大辞典』（第2版・小学館）では、「あんにん」「きょうにん」ともに14世紀ごろの用例が示されてい

るが、最近の辞典では「きょうにん」を主な見出しにし、「あんにん」を空見出しにする辞典が多い。「杏仁」に「豆腐」がついた「杏仁豆腐」が辞典に現れるのは比較的最近のことだ¹⁰⁾。平成以降に出版された国語辞典のうち18冊を調べると14冊に「杏仁豆腐」の立項または用例があり、7冊が「きょうにん」と読み、7冊が「あんにん」と読ませている。なお、一部には「杏仁」を「あんにん」と読むのは誤用であるという指摘もある¹¹⁾。しかし、「杏」の漢字音に「アン」も「キョウ」も含まれていることや、辞典の立項の変遷から見て、どちらかの読みが「誤用」であるとは言いにくい¹²⁾。

調査の結果、「杏仁豆腐」と書いて「アンニンドーフ」と読むという人が9割にのぼった（図6）。

図6 「杏仁豆腐」の表記と読み（全体）



表記は問わずに「アンニンドーフ」と読む人と、「キョーニンドーフ」と読む人とで分けても、「アンニン」が96%で、「キョーニン」が1%であった。調査前、年代が高いほど「キョーニン～」と読む人が多くなると想定していたが、年代差も見られなかった。また、表記別には、漢字が多く（92%）、ひらがな、カタカナが続いた。

この語については読みや表記にゆれはなく、「杏仁豆腐」で「アンニンドーフ」と読む形で定着しているようだ。

2. 濁点表示

2.1 「回転すし／回転ずし」

2.1.1 ことばの背景

NHK 現行規定：

- ・かなの使い方はおおむね発音どおりにする。
- ・「ジ」「ズ」と発音するものは原則として「じ」「ず」と書く(以下略)

NHK 放送文化研究所編(2011)『NHK 漢字表記辞典』

現代語では、[カイツンズシ]と発音することばを書く場合には、「回転ずし」のように「濁点」を付けた「ず」を使うのが原則である〔=発音と表記の一致¹³⁾〕。しかし、たとえば『源氏物語』など、平安時代のかな文字の作品には、もともと濁点はいっさい使われていなかった。濁点は、あとの時代になって生み出された表記方法である。

濁音をかなで書くときに、かなの右肩に濁点を打つ方式が定着し始めたのは、だいたい1600年前後のことであると考えられている。しかし、このころはまだ濁音であれば必ず濁点を打つというようにはなっておらず、濁点は付けたり付けなかったりといった「任意の符号」であった。この状況は、江戸時代になっても続く(山本真吾(2011))。明治期およびそれ以前は、濁点は必要だと判断された場合に限って付されたものであり、前後の文脈から類推できる場合には使われないことが多かった(岡・小町・小木曾・松本(2011))。たとえば「スヘシ」と書かれてあったとすると、これは「すべし」と読むのが自明である(と考えられた)から、わざわざ濁点を付さないことが多かったのである。

濁音を含む語に濁点がきちんと記されているかどうかの割合〔=濁点文字使用率〕について、明治期に創刊された総合雑誌『太陽』をコーパスとして用いた研究がなされている。この成果によ

ると、この雑誌での濁点文字使用率は1895(明治28)年の時点で94.5%と高い率を示しており、この率は年を経るごとに上昇して1917(大正6)年にはほぼ100%に至っていることが、実証的に示されている(近藤明日子(2005))。つまり、濁点を義務的に付す習慣の定着は、明治から大正にかけてほぼ完成したと考えることができる。

今回の調査は、現代において一般に「回転すし」という表示・表記が多く見られることからおこなったものである。実際に[カイツンズシ]と発音する人が「回転すし」と書くのはなんら問題ないのだが、濁音で[カイツンズシ]と言っているのにもかかわらず「回転すし」と書いてもよいと思っている人が、実はかなりいるようである。このことは、以前に実施した下記のような調査の結果でも明らかである(塩田雄大(2012.10))。

Q テレビ画面に出る字幕スーパーと、アナウンサーの言い方についてうかがいます。次のような字幕スーパーが出ているときに、アナウンサーが「かいてんずし」と言ったとしたら、あなたはどのように感じますか。

【回答者に「回転すし」という文字表記を見せる】

- 1 別に抵抗は感じない 55%
- 2 「回転すし」と書いてあるのであれば、アナウンサーも「かいてんすし」と言ったほうがよい 10
- 3 アナウンサーが「かいてんずし」と言うのであれば、字幕スーパーも「回転ずし」と書いたほうがよい 33
(わからない 2)

Q では、次のような字幕スーパーが出ているときに、アナウンサーが「ごじごろ」と言ったとしたら、どのように感じますか。

【回答者に「5時ごろ」という文字表記を見せる】

- 1 別に抵抗は感じない 50%
- 2 「5時ごろ」と書いてあるのであれば、アナウンサーも「ごじごろ」と言ったほうがよい 9

- 3 アナウンサーが「ごじごろ」と言うのであれば、字幕スーパーも「5時ごろ」と書いたほうがよい 38
(わからない 3)

(ことばのゆれに関する調査/全国満20歳以上の男女2,000人/層化副次(二段)無作為抽出法/調査員による個別面接聴取法/2007年3月9日~12日/回収数(率)1,307(65.4%)

このように、「回転すし」「5時ごろ」と書いて「カイテンズシ」「ゴジゴロ」と読むことを問題視しない(=表記と発音の不一致)という回答がもっとも多く、半数に達している。なお、特徴的な年代差は見られない。

今回は、こうした「発音と表記の一致」にかかわる質問を、自身の言語行動として尋ねてみた。

2.1.2 調査結果から

回答数の多い順に、以下のようにになっていた(質問文は稿末の単純集計表参照、以下同)。

- ①「回転すし」と書いて、
「カイテンズシ」と言う 47%
②「回転すし」と書いて、
「カイテンズシ」と言う 36
③「回転すし」と書いて、
「カイテンスシ」と言う 9
④「回転すし」と書いて、
「カイテンスシ」と言う 7
[濁音の箇所をゴシックにした]

これ以降、①を〔濁音専用〕、②を〔清音で書き、濁音で言う〕、③を〔濁音で書き、清音で言う〕、④を〔清音専用〕とする。

年代別には、若い年代になるにしたがって〔濁音専用〕に集中してゆくような傾向を見せている(図7)。一方〔清音で書き、濁音で言う〕のような「表記と発音の不一致」の回答は、どの年代にも一定の割合で存在していることが見て取れる。

この項では、学歴による違いが見られる。大卒層では〔濁音専用〕が過半数であるが、非大卒層ではそれ以外の選択肢にも回答がある程度分散している(図8)。

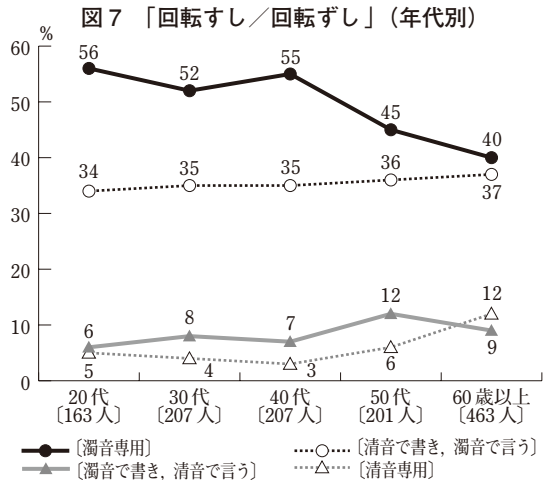
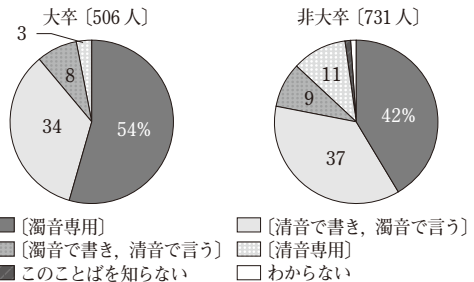


図8 「回転すし/回転ずし」(学歴別)



3. 漢字表記

3.1 「からあげ」

3.1.1 ことばの背景

NHK 現行規定:

①から揚げ ②空揚げ(「唐揚げ」とも)

NHK 放送文化研究所編(2011)『NHK 漢字表記辞典』

「からあげ」は、衣をあまり付けない〔=衣が「空(から)」である〕で揚げるところから名づけられたものである(決して「からって揚がっているから」などという理由ではない)。

「唐揚げ」と表記した場合、一般に中国の料理であるかのようなイメージと結びつく¹⁴⁾。しかし日本式の「鶏のから揚げ」は、実は中国では一般的ではない。中国では近年「唐揚 [=「揚」の簡体字]」と書かれた「日本料理」の流入が見られるという(笹原宏之(2011))。

漢字表記の規定上の変遷を見てみると、まず1948(昭和23)年の「当用漢字音訓表」では、「空」には「クウ・そら」,「唐」には「トウ」しか示されていなかった。そのため、放送での表示としては「から揚げ」というものしか認めていなかった。その後、1973年の「当用漢字改定音訓表」において、「空」に「あく・あける・から」が,「唐」には「から」が追加された¹⁵⁾。この答申・告示に合わせる形で、放送での表記の規定を「(空)揚げ [=「から揚げ」を原則とし、場合によって「空揚げ」も認める]」に変更した(放送用語研究部(1972))。ここで「から揚げ」を原則としたのは、「漢字の意味の強さよりも、ことば全体としての意味のほうが強いために、かな書きのほうがよいと判断され」「長年にわたってつちかわれてきた慣用を尊重した」という類型に含まれるとみなされたためである(西谷博信・安倍真慧(1972))。

NHKでは、この「『から揚げ』を原則とし、『空揚げ』も可とする」という規定を、長らく保持してきた。「唐揚げ」という表記も認めたのは、2011年の『NHK漢字表記辞典』以降である。これは、世間でこの表記もかなり一般的になっていると考えられたことによる修正である。

「唐揚げ」という漢字表記を早い時期に載せた国語辞典としては、筆者が調べた範囲内では下記を挙げることができる。

からあげ [空揚げ・唐揚げ] (名・他サ) [料] ころもをつけないで、そのまま揚げ・ること(たもの)。

『三省堂国語辞典(初版)』(1960年)
 (「^」は「当用漢字音訓表外」であることを示す)

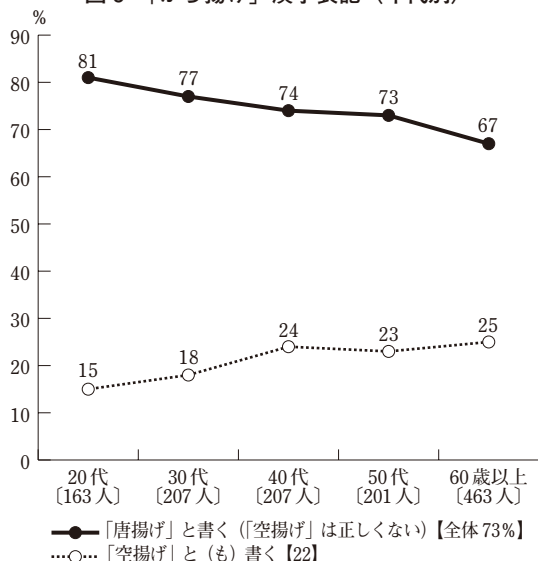
なお「日本唐揚協会」(2010年に一般社団法人化)では、「唐揚げ」を正式な表記として採用している。「唐揚げ」を日本で最初に外食として提供したのは、「食堂・三笠」(現在の(株)三笠会館(東京・銀座五丁目)の前身)である。1932(昭和7)年ごろのことで、メニュー表示は「若鶏の唐揚げ」であったという(安久鉄兵(2013)pp.93-99)。

3.1.2 調査結果から

今回の調査結果では、「『唐揚(げ)』と書く(『空揚(げ)』は正しくない)」という回答が73%と多数であった。

年齢別には、若い年代になるほどこの回答に集中する傾向が強い。この選択肢だけで過半数を占めているため、これ以外の3つの回答選択肢(「『空揚(げ)』と書く(『唐揚(げ)』は正しくない)」「どちらも正しいが、自分では『空揚(げ)』と書くことが多い」「どちらも正しいが、

図9 「から揚げ」漢字表記(年代別)



自分では『唐揚げ』と書くことが多い)を『空揚げ』と(も)書く)として1つにまとめると、明らかな年齢差が確認できる(図9)。

若い年代ほど「唐揚げ」が多いというこの傾向は、以前にウェブ上でおこなったアンケートでの結果(塩田雄大(2010))とも一致する。

3.2 「たまご焼き」

3.2.1 ことばの背景

NHK 現行規定：卵焼き
NHK 放送文化研究所編(2011)『NHK 漢字表記辞典』

「たまご」を「玉子」と書くのは、一般に「当て字」だとされている。漢語での「玉子」は「玉〔=ひもで連ねた宝石〕」のことであり、「たまご」の意味はない(文化庁編(1981))。

しかし、この書き方は「語源(意識)と字訓・字義が対応しており本来的といえる。「卵」よりやや遅れ、中世末から近世初期にかけて現れた。」(笹原宏之(2010))という重要な指摘があり、「たまご」の正しい漢字表記は「卵」だけだと規定するのは、やや無理がある。

まず、『現代日本語書き言葉均衡コーパス(BCCWJ)』のデータでは、全体の約81%が「卵」、約11%が「たまご」、約5%が「玉子」、約3%が「タマゴ」となっている(丸山岳彦(2011))。現代の書きことばでの出現数としては、「卵」がもっとも多いことがわかる。

ただし実際には「卵」と「玉子」は、使い分けられることがよくある。たとえば漢和辞典の『新潮日本語漢字辞典』(2007年)では、「卵」の項に「「玉子」は食用にする鶏の卵の意に多く使われる」というように示している。

漢字表記の一つとして「卵」以外に「玉子」も掲げた国語辞典は古くからあるが、このような

使い分けを示した辞典の例は、調べた範囲内では下記が初期のものとして位置づけられる。

たまご【卵】①鳥・魚・虫などの雌から産み出され、孵化(ふか)して子となる球状のもの。…〔以下略〕

たまご【玉子】鶏の卵の特称。鶏卵。

『角川国語辞典(初版)』(1956年)

また、次のような実例で見てみよう。

「玉子は、タレにつけた煮玉子が多いが、徳島県や高知県では生卵のトッピングが見られる。」(p.16) ※下線は引用者による
牧田幸裕(2010)『ラーメン二郎にまなぶ経営学』

ここでは、火を通していない「生」のものが「生卵」、調理したものが「煮玉子」というように書き分けられている。かつてウェブ上でおこなったアンケートでの結果(塩田雄大(2007)(2008))では、「生たまご」は「～卵」、「たまご焼き」は「玉子～」のように書き分けをするという意見が、若い年代になるほど多くなっていた。

このような現状を反映して、新聞各社の規定では、「たまご」の漢字表記は原則として「卵」であることを明記しつつ、例外も示している。

⑨ 「玉子丼」など料理名では「玉子」も。
時事通信社編(2010)『最新用字用語ブック[第6版]』

⑩ 「玉子丼」など料理名では「玉子」も使う。
朝日新聞社用語幹事編(2010)『朝日新聞の用語の手引』

* 「玉子丼」「えび玉丼」などの料理名は別。
日本経済新聞社編(2011)『NIKKEI用語の手引 2011年版』

⑪ 「玉子丼」は別
毎日新聞社編(2013)『毎日新聞 用語集』

また消費者庁では、アレルギー物質を含む食品の一つである「卵」を原材料として表示する際に、「玉子」「タマゴ」「エッグ」などを「代替表記」として認めている。「代替表記」とは「特

定原材料等と表記方法や言葉が違うが、特定原材料等と同じものであることが理解できる表記」のことで、「一般的に「玉子」「タマゴ」「エッグ」等の表示であっても、特定原材料である「卵」を使用していると理解できるので、これらは代替表記として認めます。」と示している¹⁶⁾。

また、この漢字表記には地域による習慣の違いの存在が指摘されており、高知では「卵」と書くのが普通で「玉子」はほとんど使われないらしいと記されている(笹原宏之(2008))。これについては後述する。

3.2.2 調査結果から

回答数の多い順に、以下のようになっていた。

- ① どちらも正しいが、自分では「玉子焼(き)」と書くことが多い 36%
- ② 「玉子焼(き)」と書く(「卵焼(き)」は正しくない) 28
- ③ どちらも正しいが、自分では「卵焼(き)」と書くことが多い 20
- ④ 「卵焼(き)」と書く(「玉子焼(き)」は正しくない) 14

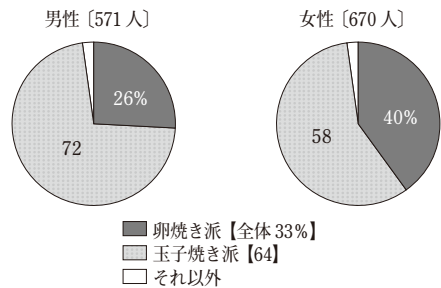
これ以降、①と②を合わせて〔玉子焼き派〕(64%)、③と④を合わせて〔卵焼き派〕(33%(四捨五入の結果))とし、話を進める。

まず、この漢字表記の習慣には男女差があり、男性には〔玉子焼き派〕が、女性には〔卵焼き派〕が相対的に多いという傾向がある(図10)。これは、ウェブ上でおこなったアンケートでの結果(塩田雄大(2009))とも一致する。

年齢別には、特定の傾向は見られない。

地域別では、〔玉子焼き派〕が関西にやや多い(全国[1,241人]平均64%、関西[198人]71%)が、それ以外は目立った特徴は表れていない。前述した高知については、9人中4人が

図10 「たまご焼き」漢字表記(男女別)



〔卵焼き派〕、5人が〔玉子焼き派〕である¹⁷⁾。少なくとも今回の調査結果からは、「高知では『玉子』は使われていない」ということを確認することはできなかった¹⁸⁾。

3.3 「しょうゆ」

3.3.1 ことばの背景

NHK 現行規定：しょうゆ(漢字表記は不可)
NHK 放送文化研究所編(2011)『NHK 漢字表記辞典』

『新明解国語辞典(第七版)』(2012年)の「俗字」の項に「☹漢字の、正しくないとされる使い方。「醤油」を「正油」、「波瀾」を「波乱」とするなど。」¹⁹⁾とあるように、「醤油」を「正油」と書くのは俗な書き方の典型例だとされている。以下のように、「正油」という表記に驚いたという記録もある。

「学生食堂で、生卵にソースをかけてしまっ
くやしがるうっかりものが絶えなかった。そ
こで食堂側の親心、それぞれの小びんに「ソ
ース」「正油」と書いてくれた。<間違わずこの
正しい方を生卵におかけ下さい>ということ
か!(仙台市 ○○さん)」

(『言語生活』1966(昭和41)年2月号, p.36)

「またいつだったか、「正油あります」と書いて
あった張り紙にびっくりしたこともある。」

(pp.224-225)(中田祝夫(1982)『日本語の世界4
日本の漢字』中央公論社)

「正油」という漢字表記を早くに載せた国語辞典としては、調べた範囲内では下記を挙げることができる。

しょうゆ【醤油】わが国特有の、塩味の調味料。
 …〔中略〕…〔正油は、借字〕。
 『新明解国語辞典（初版）』（1972年）
 （「ハ」は「当用漢字外」であることを示す）

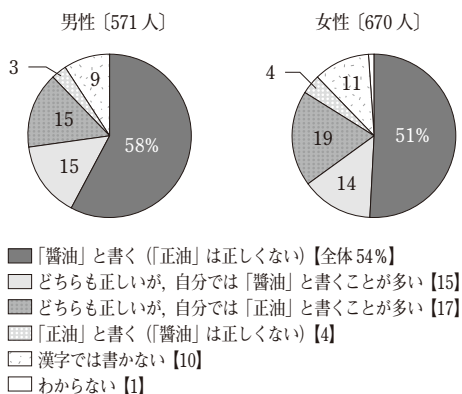
3.3.2 調査結果から

今回の調査結果では、「『醤油』と書く（『正油』は正しくない）」という回答が54%と過半数を占めた。

この漢字表記の習慣にも男女差があり、女性には「『醤油』と書く（『正油』は正しくない）」が相対的に少ないという傾向がある（図11）。ふだんよく使うものだからこそ、女性には「正油」という表記が簡略なものとしてよく用いられているのかもしれない。

また地域別には、「『醤油』と書く（『正油』は正しくない）」は東海地方を含めた西日本に特に多いという傾向が表れており、以前にウェブ上でおこなったアンケートでの結果（塩田雄大（2012.8））と一致している。今回の結果では、西日本（ここでは「九州沖縄・四国・中国・関

図11 「しょうゆ」漢字表記（男女別）



西・北陸・東海」の合算[629人])が66%、東日本（ここでは「甲信越・関東・東北・北海道」の合算[612人])が43%となっている。「正油」は、東日本で特に多い表記なのである。

「正油」がよく使われるという傾向は、北海道では特に顕著である。各地域別に見ると、北海道（52人）で一番多い回答は「どちらも正しいが、自分では『正油』と書くことが多い（全国平均17%、北海道46%）」になっている。それ以外の地域においては、一番多いのはいずれも「『醤油』と書く（『正油』は正しくない）（全国平均54%、北海道33%）」である²⁰⁾。

4. 文法上の問題

4.1 「～いただく」と「～くださる」

4.1.1 ことばの背景

「～いただく」と「～くださる」の使い方に関して、文化審議会答申(2007)『敬語の指針』には、下記のような記述がある。

【17】いつも、「御利用いただきましてありがとうございます。」と言ったり、書いたりしているのだが、「御利用くださいませ。」の方が良いのだろうか。どちらが適切なのだろうか。

【解説1】…〔略〕… 立てるべき対象は、どちらも同じであり、また、恩恵を受けるという認識を表す点も同様であるため、どちらの言い方も適切に敬語が用いられているものである。

【解説2】謙譲語Iの「御利用いただく」の使い方には、問題があると感じている人たちもいる。その理由としては、「利用する」のは相手側や第三者なのだから、尊敬語である「御利用くださる」を使うべきだということなどが挙げられているようである。

しかし、「御利用いただく」は、「私はあなたが利用したことを（私の利益になることだと感じ）有り難く思う」という意味を持った敬語

である。「利用する」のは相手側や第三者、「御利用いただく」のは自分側、という点がやや理解されにくい敬語であるが、自分側の立場から相手側や第三者の行為を表現した敬語であり、敬語の慣用的な用法として特に問題があるわけではない。ただ、このような「いただく」の用法に対しては、その受け止め方に個人差があり、不適切な用法だと感じている人たちもいる。

また、「御利用いただきまして…」と「御利用くださいませ…」のどちらが適切か、どちらが丁寧か、という判断や感じ方についても個人差が大きいようであるが、基本的には、どちらもほぼ同じように使える敬語だと言ってよい。

つまり、「ご利用くださいまして」と「ご利用いただきまして」は、国の見解としては、後者のほうには問題を感じる人もいるものの、どちらも「正しい敬語」として解釈されている。

「(ご利用)いただきまして」をめぐる問題点というのは、次のように説明できる。

「くださる」は「くれる」に対応する尊敬の動詞であるが、たとえば友達に対しては次のように言える。

「教えてくださいましてありがとうございます。」
⇒○「教えてくれてありがとう。」

一方「いただく」に対応する「もらう」では、同じように言いかえることはできない。

「教えていただきましてありがとうございます。」
⇒×「教えてもらってありがとう。」

このように、もともと「教えてもらって～」とはふつうは言わないのだから「教えていただき～」も変なのだ、というのがその根拠になっている(塩田雄大(2011))。

こうした点で「～いただく」は問題視される

ことがあるのだが、「～くださる」と「～いただく」が事実上交代可能な場面においては、現代では「～いただく」のほうが多用されていることが、金澤裕之(2007)(2008)や秋田恵美子(2010)で示されている。

4.1.2 調査結果から

調査では、「ご理解【くださいますよう/いただきますよう/いただけますよう】、お願いいたします。」の3つの言い方について尋ねた。

「このような言い方をしてもかまわないし、自分でも使うことがある」(これ以降[全面肯定]とする)が全体としてもっとも多かったのは、【いただきますよう】(平均56%)である。一方、「場面や状況を問わず、このような使い方はおかしい」という全面的に否定するような回答がもっとも多いのは、【いただけますよう】(平均24%)である。

年代別に見ると、【くださいますよう】では50代以上に[全面肯定]が多いことと、【いただけますよう】では若い年代になるほど[全面肯定]が多くなること(20代は例外)が指摘できる(図

図12 ご理解【くださいますよう】(年代別)

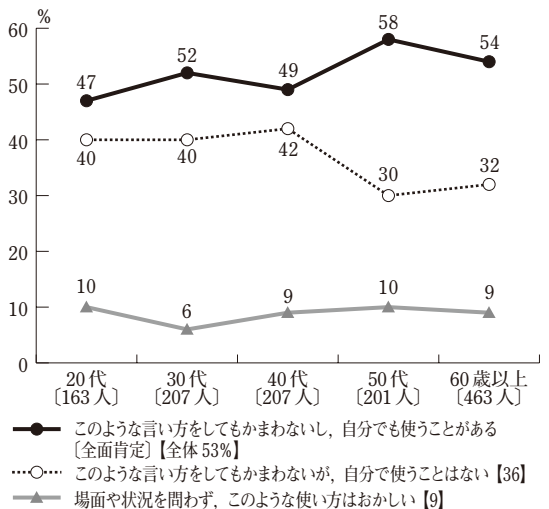


図 13 ご理解【いただきますよう】(年代別)

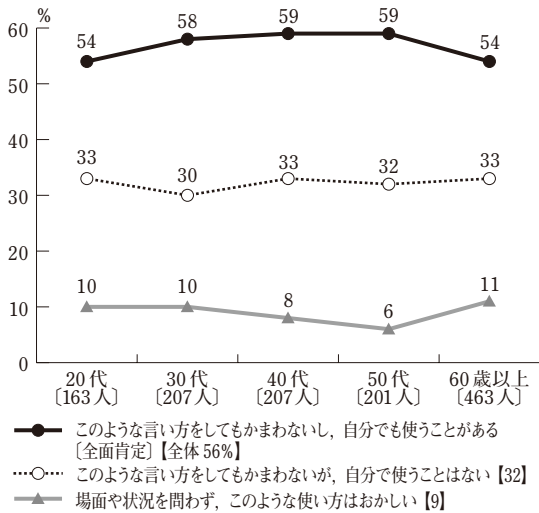
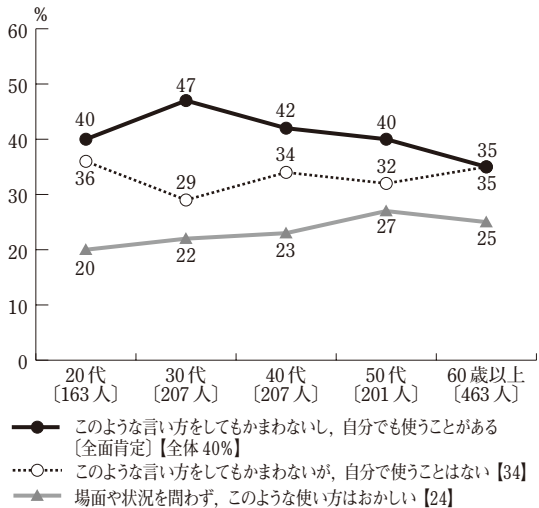


図 14 ご理解【いただけますよう】(年代別)



12, 13, 14)。ここから、【くださいますよう】が保守的な形、【いただけますよう】が新興の形であると言えることができる²¹⁾。【いただきますよう】は、すべての年代でほぼ同じように支持されている。

4.2 可能表現関連

前節で【いただけますよう】という「可能」の言いまわしを用いた表現が新興の形であること

を示した。このように、「可能」に関する表現が、これまではあまり使われていなかったようなところで用いられることが多くなっている。

4.2.1 ことばの背景

個人や地域によって判断に「ゆれ」があるものの、「(天井に手が)届けた」(太田眞希恵(2008))や「(目的地に)至れた」「(人と人とが)つながれる」などは、すわりの悪い言い方だと感じる人が多いのが現状であると思われる。

自動詞には、①意識的になされる〔=人の意志によって制御できる〕行為を表すもの(非能格動詞)と、②自然に起こる〔=人の意志によって制御できない〕現象あるいは状態変化を表すもの(非対格動詞)の2種類がある。そのどちらかであるかによって、文法的なふるまいも異なってくる。たとえば、①に属する「踊る、走る、動く」などからは「踊れる、走れる、動ける」のような可能動詞が作れるのに対して、②に該当する「切れる、光る、(風が)吹く」などでは「可能」の意味で「切られる、光れる、(風が)吹ける」と言うことはできない。「至る」〔=「段々進んで、必然的に目的の所(その状態)にまで達する。」(『新明解国語辞典(第七版)』)〕や「届く」「つながる」は、どちらかという②に分類するのが妥当である(塩田雄大(2012.2))。つまり、「届けた」「至れた」「つながれる」などの可能の形には本来なりにくい。

また「知る」という動詞は、周りの状況や情報などをきっかけにして、(自分の意志とは関係なく)ある知識が頭の中に入ってくることを表す。このように個人の意志では制御できない動作を表す②に該当する動詞のなかには、形の上で可能動詞を作ることはできても、「自発(=自然とそうなる)」の意味になるものがある。たとえ

ば「笑える」「泣ける」というのは、「笑う能力がある・笑ってもいい状況だ」「泣く能力がある・泣いてもいい状況だ」ということよりも、多くの場合には「自然と笑ってしまう」「自然と涙が出てしまう」ということを示す。「知れる」という形もこれと同じで、本来は「自発」として使われ、たとえば「お里が知れる」というのは、ふるまいやことばづかいから育った環境などが自然とわかってしまうということである。ところが近年、「知れる」が「可能」としても使われるようになってきているようである(塩田雄大(2012.7))。

4.2.2 調査結果から

こうしたことに関して尋ねた質問の結果を、新興の形を用いた言い方をするかどうかという点から回答をまとめ直して下記に示した。

- ▼「なかなか目的地に【至らない／至れない】。」
 - 【至れない】とは言わない・・・52%
 - 【至れない】とも言う・・・31
- ▼「事実を【知れて／知ることができて】よかった。」
 - 【知れて】とは言わない・・・63%
 - 【知れて】とも言う・・・36
- ▼「あの映画には【感動した／感動できた】。」
 - 【感動できた】とは言わない・・・70%
 - 【感動できた】とも言う・・・29
- ▼「天井に手が【届かない／届けない】。」
 - 【届けない】とは言わない・・・91%
 - 【届けない】とも言う・・・8

この中で、【感動できた】と【知れて】には年代差が見られる。「【感動できた】とも言う」は、20代を除き若い年代になるほど多くなっている(図15)。また「【知れて】とも言う」は鮮やかな年代差を示しており(図16)、【知れて】が若い層で多用されているという点で、以

図15 あの映画には【感動できた】(年代別)

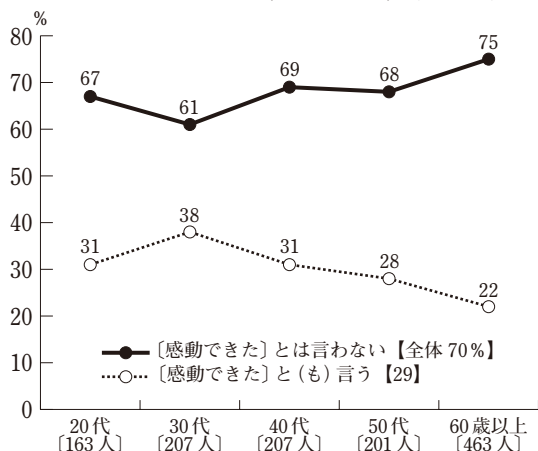
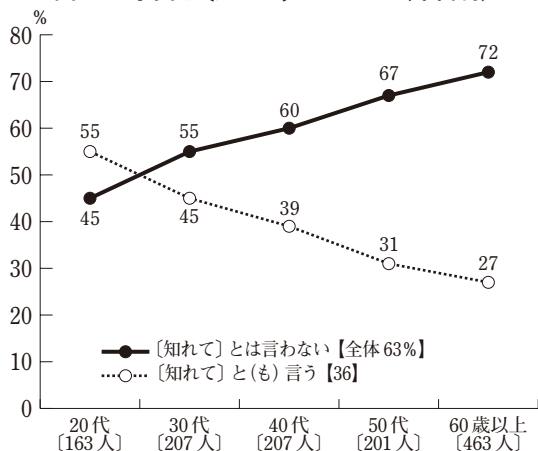


図16 事実を【知れて】よかった(年代別)



前にウェブ上でおこなったアンケートでの傾向(塩田雄大(2012.7))と一致している。

【至れない】と【届けない】については年代差が表れていないが、【至れない】については「至る」がそもそも話しことばではあまり使われない語であることが、回答者の判断に影響したであろう。【届けない】については、「届く」の他動詞として「届ける」という形があることから、この語形との衝突を避けるために可能な形があまり使われていないのかもしれない。《次号に続く》(しおだ たけひろ／やました ようこ)

注：

- 1) 人名、地名は一部例外がある。たとえば、「ヴィヴァルディ」など。なお、NHKでは「Beethoven」は「ベートーベン」と「ベートーヴェン」の2とおりの表記を認めている。発音については、[v]の音を「ウ濁」で書いた場合でも、「ハ濁」と同じ発音でよいことにしている。
- 2) 外来語の表記は、国の「外来語の表記」（内閣告示 平成3年6月28日）で考え方がまとめられている。NHKの外来語の表記の原則は『NHKことばのハンドブック第2版』pp.219-231 参照。日本新聞協会の外来語の表記の原則は『新聞用語集2007年版』pp.487-491 参照。
- 3) 「チジミ」の表記を使った記事は1件だけ。2013年1月13日東京新聞朝刊で、「渡来チジミ」。レストランのメニュー紹介として使われている。
- 4) 「チジミ」の立項があるのは、『明鏡第2版』（2010）、『新明解第7版』（2012）である。『明鏡』には「チヂミも多いが「外来語の表記」に従ってチジミと書くのが標準的」と説明があり、『新明解』には「メニューなどではチヂミと書かれることもある」と説明がある。「チヂミ」の立項があるのは、『大辞林第3版』（2006）、『広辞苑第6版』（2008）、『三省堂国語辞典第6版』（2008）、『現代新国語辞典第4版』（2011）、『岩波国語辞典第7版新版』（2011）、『大辞泉第2版』（2012）、『集英社国語辞典第3版』（2013）である。なお、「チヂミ」をとっている辞典も、外来音の[dʒ(i)]や[di]をすべて「ヂ」にしているわけではない。「チヂミ」以外は「ジ」で表記している（例：ドッジボール、バッジ、ラジオなど）。また、版を重ねている辞典を調べると、『大辞林第3版』（2006）が最初の立項で、これ以前に出版の辞典にはこの語は見あたらない。
- 5) 「現代仮名遣い」昭和61年内閣告示・内閣訓令、平成22年一部改正。
- 6) 第1235回放送用語委員会では、外部の委員から日本語の発音に近く書き表す場合には「トーバンジャン」となる。放送で表記する場合には発音と表記を一致させる原則にしたがい「トーバンジャン」ではないのか、という意見が出された。議論の結果「トウバンジャン」の表記で定着していると判断し、表記は「トウ～」となった（山下洋子（2002））。
- 7) 版を重ねている辞典を調べると1988年発行の『大辞林』（初版）に「トーバンジャン」で立項されている。また、『広辞苑』は1998年発行の第5版（現在は2008年発行の6版が最新）から「トウバンジャン」で立項している。
- 8) 中国語では[xingren]で「シンレン」というような読みになる。
- 9) NHKの漢字表記の原則で表記すると、放送では「あんじん豆腐」または「きょうにん豆腐」とするのが模範的である。「杏」は常用漢字表に含まれない漢字（表外字）、「仁」[ニン]は常用漢字表に含まれない音訓（表外音訓）のため。
- 10) 版を重ねている辞典を調べると、『広辞苑』には、1983年発行の第3版から「きょうにん豆腐」で立項されている。『三省堂国語辞典』は

2001年発行の第5版から、『新明解国語辞典』は2005年発行の第6版からいずれも「あんじん豆腐」の形で立項されている。

- 11) 根本浩（2012）『杏仁豆腐はキョウニン豆腐が正しい!』（中央公論新社）。
- 12) 「節用集」などの古い辞典では「あんじん」の読みが見られるようだ（『日本国語大辞典』（第2版））。『日葡辞書』（1603年）では「あんじん」と「きょうにん」両方が立項されている。明治・大正期の辞典では、「あんじん」の立項しかない辞典（『大日本国語辞典』（富山房・1915-1919））や、「きょうにん」の立項しかない辞典（『言海』（六合館・1904））がある。時代によって読みがゆれている。
- 13) ただし戦後の文部省ではかつて、（少なくとも連濁の場合には）発音と表記が完全に一致しなくてもよいという見解を示していたことがある。文部省（1960）pp.5-6では、「研究所」のローマ字表記がkenkyūsyōとなることを示したうえで、「もっとも、そう書き表わしたところで、では、ことばの上でも必ず「しよ」と発音しなければいけないということにはなりません。（改行）その点、口頭の発音と文字表記の上とで多少のずれがあることは、ある程度まで（いわばさしつかえないかぎり）認められなければならないでしょう。」と記している。
- 14) 次のように示している書籍もある。「からあげ」[唐揚]唐風の材料に醤油、酒、味醂、ニンニク、生姜、などで味を付けて片栗粉をまぶしてあげたもの。空揚（からあげ）、材料に塩味をして揚げたもの。唐（から）風に揚げるから唐揚、何も付けずに揚げるから空揚といえます。（中村幸平（2004））しかしこの解釈は、「語源」ではなく「そのような使い分けが生じている」ということを示したものであるように思われる。また、江戸時代の普茶料理の料理書には「唐揚」が出てくるが、これは「豆腐を小さく切り油で揚げ、さらに醤油と酒で煮たもの」であり、これが現代の「からあげ」と直接の関係があるのか、不明である（塩田雄大（2010））。
- 15) 文部省（1961）「公用文送りがな用例集」『国語シリーズ No.21 公用文の書き方 資料集〔三訂〕』では「から揚げ」が掲載されているが、文部省（1973）「文部省公用文送り仮名用例集」『新しい国語表記による公用文作成の手引』では当用漢字音訓表の改定を受けて「空揚げ」となっている。
- 16) [<http://www.caa.go.jp/foods/pdf/syokuhin12.pdf>]
- 17) ここでの数値提示は、荻野綱男（2005）の「『模造紙』（大きな白い紙）を表す語形の都道府県別分布」において示されているものと同様に、実数や割合を知ることが目的のではなく、ある表現がある地域に存在するかどうかを判断するためのものである。また、言語研究として県別データを取り上げることの意義については、井上史雄（1996）参照。
- 18) ただし、高知では「玉子焼き」は緑日などで売られているお菓子「鈴カステラ・ペビーカステラ」を指す習慣が強いことが指摘されている（笹原

宏之(2008), および総合テレビ「みんなでニホンGO! (2010.4.8)」での放送内容)。今回の回答者の中には, こちら側で意図した「ごはんのおかず」としての「たまご焼き」ではなく, 「お菓子」のほうを頭に浮かべた上で『「玉子焼き」と書く』と答えた人がいたおそれもある。

- 19) なお『新明解国語辞典(初版)』(1972年)の同項では, 「ぞくじ【俗字】…○漢字の, 正しくない使い方。「醤油」を「正油」, 「波瀾」を「波乱」とするなど。「文部省が勧める代用漢字は, 一種のーである」と示されている。ただし, 室町時代に記された日記『言継卿記』には天正10(1582)年のところに「しょうゆ」のことを指す「正ユウ」という表記があると指摘されており(吉田元(1990)), 「正油」という書き方もかなり昔からおこなわれていたことを示唆する。
- 20) 関連する言語事実として, 旭川をはじめとする北海道のラーメン店には「正油ラーメン」を名乗るところが多いことが以前から指摘されていることを記しておく。ただし, 本稿と同じ抽出形式でのデータを分析している田中ゆかり・前田忠彦(2012)において慎重に示されているとおり, 約1,300というサンプル数は「方言」という多様な現象を代表させるには必ずしも十分なものではなく, 安定的な結果であるとは断言できないことを銘記しておく必要がある。
- 21) 近年「～いただけます」という受益可能表現が広告で多用されるようになってきている(守屋三千代(2011))ことも, これと関連すると思われる。

引用文献:

- ・秋田恵美子(2010)「「いただく」の過剰使用傾向について」『創価大学別科紀要』20
- ・石綿敏雄(2001)『外来語の総合的研究』東京堂出版
- ・井上史雄(1996)「語彙の地域差」『放送研究と調査』46-12
- ・榎垣実(1963)『日本外来語の研究』研究社
- ・太田眞希恵(2008)「類推と誤用」『放送研究と調査』58-10
- ・岡照晃・小町守・小木曾智信・松本裕治(2011)「機械学習による近代文語文への濁点の自動付与」『情報処理学会研究報告・自然言語処理研究会報告』2011-NL-201(6)
- ・荻野綱男(2005)「言語研究と統計学の考え方ー有意差検定の意味を考えるー」『日本語学研究』13 韓国日本語學會
- ・金澤裕之(2007)「「～てくださる」と「～いただく」について」『日本語の研究』3-2
- ・金澤裕之(2008)「「～てくださる」と「～いただく」」『留学生の日本語は, 未来の日本語 日本語の変化のダイナミズム』ひつじ書房
- ・近藤明日子(2005)「濁点文字使用率から見る濁音表記」『雑誌『太陽』による確立期現代語の研究』『太陽コーパス』研究論文集 国立国語研究所報告122』博文館新社
- ・笹原宏之(2008)『訓読みのはなし』光文社
- ・笹原宏之(2010)『当て字・当て読み 漢字表現辞典』三省堂
- ・笹原宏之(2011)『漢字の現在』三省堂
- ・塩田雄大(2007)「卵焼き? 玉子焼き?」[http://www.nhk.or.jp/bunken/summary/kotoba/term/109.html]
- ・塩田雄大(2008)「「たまご」といえば, 「卵」それとも「玉子」?」『クラリス』vol.4 秋号 朝日新聞出版社
- ・塩田雄大(2009)「「たまごやき」は, 漢字でどう書いたらいいのか?」『月刊 News がわかる』2009.4 毎日新聞社
- ・塩田雄大(2010)「「空揚げ」? 「唐揚げ」?」[http://www.nhk.or.jp/bunken/summary/kotoba/term/134.html]
- ・塩田雄大(2011)「「教えてくださり」? 「教えていただき」?」[http://www.nhk.or.jp/bunken/summary/kotoba/term/146.html]
- ・塩田雄大(2012.2)「放送用語委員会(名古屋) 伝えたいことが, 伝わっているか。」『放送研究と調査』62-2
- ・塩田雄大(2012.7)「「知れて」? 「知ることができて」?」[http://www.nhk.or.jp/bunken/summary/kotoba/term/153.html]
- ・塩田雄大(2012.8)「「しょうゆ」? 「醤油」? 「正油」?」[http://www.nhk.or.jp/bunken/summary/kotoba/term/154.html]
- ・塩田雄大(2012.10)「「回転すし」から, 思うこと。」『放送研究と調査』62-10
- ・田中ゆかり・前田忠彦(2012)「話者分類に基づく地域類型化の試みー全国方言意識調査データをういた潜在クラス分析による検討ー」『国立国語研究所論集』3
- ・中村幸平(2004)『新版・日本料理語源集』旭屋出版
- ・西谷博信・安倍真慧(1972)「放送で使う新しい用字用語ー解説ー」『文研月報』22-11
- ・文化庁編(1981)「「卵」と「玉子」の使い分け」『言葉に関する問答集7』大蔵省印刷局
- ・放送用語研究部(1972)「放送で使う新しい用字用語ー用例ー」『文研月報』22-10
- ・丸山岳彦(2011)「コーパス日本語学」『はじめて学ぶ日本語学』ミネルヴァ書房
- ・守屋三千代(2011)「広告における受益可能表現ー「事態把握」の観点よりー」『日本語日本文学』21
- ・文部省(1960)『国語シリーズ44 国語問題問答』明治図書
- ・安久鉄兵(2013)『日本唐揚協会のつくりかた』メタモル出版
- ・山下洋子(2002)「用語の決定ー「インタホン」「キッチン」「アメーバ」「スノーケル」「豆醬醬」などー」『放送研究と調査』52-9
- ・山下洋子(2003)「用語の決定ー「ウーロン茶」「マーボー豆腐」「シューマイ」「ギョーザ」「ピビンバ」ー」『放送研究と調査』53-5
- ・山下洋子(2013)「用語の決定ーウオッカ, アップリケー」『放送研究と調査』63-2
- ・山本真吾(2011)「補助符号」『図解 日本の文字』三省堂
- ・吉田元(1990)「16世紀寺院の発酵食品づくり」『日本醸造協会誌』85-3

日本語のゆれに関する調査（平成 25 年 3 月）単純集計結果

【調査の概要】

1. 調査時期：平成 25 (2013) 年 3 月 8 日～ 24 日
2. 調査方法：調査員による個別面接聴取法
3. 抽出方法：層化副次 (三段) 無作為抽出法
4. 調査相手：全国満 20 歳以上の男女 4,000 人
5. 調査有効数 (率): 1,241 人 (31.0%)

Q1. これからあげるいくつかのことばについて、それぞれどちらの書き方がよいと思いますか。
テレビの字幕スーパーで表示されるものとしてお考えください。ことばの読み方を表す「音声」は、テレビからは流れてこないものとしします。お答えになるときは、「その書き方が、あなたご自身だけでなく、多くの人にもきちんとわかるか」といったことや、全体としての「見やすさ」なども、お考えに入れてください。

(1) まず、次のような字幕スーパーについては、どうでしょうか。

- a. ヴァイオリン
b. バイオリン

1. ヴァイオリンのほうがよい…………… 25.8%
2. バイオリンのほうがよい…………… 65.6
3. どちらでもよい…………… 8.5
4. わからない…………… 0.1

(2) では、次のような字幕スーパーについては、どうでしょうか。

- a. ベートーヴェン
b. ベートーベン

1. ベートーヴェンのほうがよい…………… 28.0%
2. ベートーベンのほうがよい…………… 65.1
3. どちらでもよい…………… 6.8
4. わからない…………… 0.1

(3) では、次のような字幕スーパーについては、どうでしょうか。

- a. ヴェネチア
b. ベネチア

1. ヴェネチアのほうがよい…………… 28.9%
2. ベネチアのほうがよい…………… 63.6
3. どちらでもよい…………… 7.3
4. わからない…………… 0.2

(4) では、次のような字幕スーパーの下線部については、どうでしょうか。

- a. ルーヴル美術館
b. ルーブル美術館

1. ルーヴルのほうがよい…………… 26.9%
2. ルーブルのほうがよい…………… 65.6
3. どちらでもよい…………… 7.1
4. わからない…………… 0.4

(5) では、次のような字幕スーパーの下線部については、どうでしょうか。

- a. バンドのライブを見る
b. バンドのライブを見る

1. ライブのほうがよい…………… 11.9%
2. ライブのほうがよい…………… 80.6
3. どちらでもよい…………… 7.2
4. わからない…………… 0.3

(6) では、次のような字幕スーパーの下線部については、どうでしょうか。

- a. バンドのヴォーカル
b. バンドのボーカル

1. ヴォーカルのほうがよい…………… 32.6%
2. ボーカルのほうがよい…………… 58.4
3. どちらでもよい…………… 8.4
4. わからない…………… 0.6

Q2. 次にあげることは、食べ物の名前を書いたものですが、それぞれどの書き方がよいと思いますか。
テレビの字幕スーパーで表示されるものとしてお考えください。ことばの読み方を表す「音声」は、テレビからは流れてこないものとしします。お答えになるときは、「その書き方が、あなたご自身だけでなく、多くの人にもきちんとわかるか」といったことや、全体としての「見やすさ」なども、お考えに入れてください。

(1) まず、次のような字幕スーパーについては、どうでしょうか。

- 韓国の食べもの a. チヂミ
b. チジミ

1. チヂミのほうがよい…………… 80.6%
2. チジミのほうがよい…………… 10.6
3. どちらでもよい…………… 6.9
4. この中にはない…………… 0.1
5. このことばを知らない…………… 1.0
6. わからない…………… 0.9

(2) では、次のような字幕スーパーについては、どうでしょうか。

- 中国のからいみそ a. 豆板醬
b. トウバンジャン
c. トーバンジャン

1. 豆板醬のほうがよい…………… 78.2%
2. トウバンジャンのほうがよい…………… 10.1
3. トーバンジャンのほうがよい…………… 6.5
4. どれでもよい…………… 3.9
5. この中にはない…………… 0.2
6. このことばを知らない…………… 0.5
7. わからない…………… 0.6

Q3. 次にあげることは、中国のデザートの名前ですが、どのように書いて、どのように読むのがよいと思いますか。1つだけお答えください。テレビで、字幕スーパーと音声と同時に使われるものとしてお考えください。

1. 「杏仁豆腐」と書いて、
[アンニンドーフ]と言う…………… 91.1%
2. 「杏仁豆腐」と書いて、
[キョーニンドーフ]と言う…………… 0.6
3. 「あんじん豆腐」と書いて、
[アンニンドーフ]と言う…………… 3.2
4. 「きょうじん豆腐」と書いて、
[キョーニンドーフ]と言う…………… 0.4
5. 「アンニンドーフ」と書いて、そのとおりに言う…………… 1.3
6. 「キョーニンドーフ」と書いて、
そのとおりに言う…………… 0.1
7. この中にはない…………… 0.8
8. このことばを知らない…………… 1.5
9. わからない…………… 1.1

Q4. 次に、ニュースでの表現について、うかがいます。

(1) 新年の初せりの様子を伝えるニュースで、アナウンサーが話すことばとしてお考えください。この2つの言い方について、お考えにもっとも近いものを1つだけ選んでください。

- a. 「競り落とされたマグロが、築地のすし店でさばかれ、『客』に提供されました。」
 b. 「競り落とされたマグロが、築地のすし店でさばかれ、『お客』に提供されました。」

1. aのように表現するのがよい…………… 38.3%
 2. bのように表現するのがよい…………… 52.5
 3. アナウンサーが男性の場合にはaだが、女性の場合にはbで表現するのがよい…………… 3.2
 4. アナウンサーが女性の場合にはaだが、男性の場合にはbで表現するのがよい…………… 1.5
 5. この中にはない…………… 2.7
 6. わからない…………… 1.9

- (2) 次の場合も、ニュースでアナウンサーが話すことばとしてお考えください。この2つの言い方について、お考えにもっとも近いものを1つだけ選んでください。

- a. 「飲食店にワゴン車が入り込み、店の『客』などあわせて7人がけがをしました。」
 b. 「飲食店にワゴン車が入り込み、店の『お客』などあわせて7人がけがをしました。」

1. aのように表現するのがよい…………… 61.5%
 2. bのように表現するのがよい…………… 32.6
 3. アナウンサーが男性の場合にはaだが、女性の場合にはbで表現するのがよい…………… 2.2
 4. アナウンサーが女性の場合にはaだが、男性の場合にはbで表現するのがよい…………… 1.0
 5. この中にはない…………… 1.0
 6. わからない…………… 1.8

- (3) 次の場合も、ニュースでアナウンサーが話すことばとしてお考えください。この2つの言い方について、お考えにもっとも近いものを1つだけ選んでください。

- a. 「▽▽の事故で亡くなった○○さんの遺体が、『帰宅しました。』」
 b. 「▽▽の事故で亡くなった○○さんの遺体が、『自宅に戻りました。』」

1. aもbもおかしい…………… 22.5%
 2. aはおかしいが、bはおかしい…………… 20.5
 3. bはおかしいが、aはおかしい…………… 48.2
 4. aもbもおかしい…………… 4.7
 5. この中にはない…………… 1.9
 6. わからない…………… 2.2

- Q5. 大きな津波が来ることが予想され、市町村が防災無線の放送で、海の近くにいる人に緊急に避難を呼びかけることになったとします。あなたなら、どのことばで呼びかけてもらうのが、より緊急の度合いが高いと感じますか。1番高いと感じるものと、2番目に高いと感じるものを、それぞれ選んでください。

(1) 1 番目

1. 「ヒナンカンコク」または「ヒナンをカンコクします」…………… 23.1%
 2. 「ヒナンシジ」または「ヒナンをシジします」…………… 10.6
 3. 「ヒナンメイレイ」または「ヒナンをメイレイします」…………… 61.6
 4. いずれでもない、わからない…………… 4.6

(2) 2 番目

1. 「ヒナンカンコク」または「ヒナンをカンコクします」…………… 31.9%
 2. 「ヒナンシジ」または「ヒナンをシジします」…………… 42.1

3. 「ヒナンメイレイ」または「ヒナンをメイレイします」…………… 18.6
 4. いずれでもない、わからない…………… 7.4

- Q6. テレビやラジオの放送で、津波から避難することを呼びかけるとき、この呼びかけ文の○○○に入ることばとして、もっとも「急がなければならない」と感じる言い方はどれでしょうか。1番強く感じることばと、2番目に強く感じることばを、それぞれ選んでください。
 呼びかけ文：「大津波警報が出ました。○○○避難してください（○○○逃げてください）」

(1) 1 番目

1. イソイデ…………… 8.5%
 2. イッコクモハヤク…………… 20.4
 3. イマズグ…………… 19.3
 4. スグニ…………… 4.5
 5. スミヤカニ…………… 3.6
 6. ソッコク…………… 3.7
 7. ダイシキウ…………… 15.6
 8. タダチニ…………… 23.3
 9. いずれでもない、わからない…………… 1.0

(2) 2 番目

1. イソイデ…………… 12.1%
 2. イッコクモハヤク…………… 14.1
 3. イマズグ…………… 15.2
 4. スグニ…………… 8.4
 5. スミヤカニ…………… 6.1
 6. ソッコク…………… 4.1
 7. ダイシキウ…………… 17.6
 8. タダチニ…………… 20.6
 9. いずれでもない、わからない…………… 1.8

- Q7. 次に、テレビで、ニュースキャスターなどが使う言い方について、うかがいます。

(1) まず、この言い方について、どう思いますか。

- 「日本チームが、初の金メダルです。」
 (「日本チームが、初めて金メダルを獲得した」という意味)
 1. 聞いたことがあるし、おかしくない…………… 69.7%
 2. 聞いたことはあるが、おかしい…………… 23.4
 3. 聞いたことがない…………… 5.1
 4. わからない…………… 1.8

(2) では、この言い方はどうでしょうか。

- 「大物議員が、逮捕です。」
 (「大物議員が、逮捕された」という意味)
 1. 聞いたことがあるし、おかしくない…………… 45.3%
 2. 聞いたことはあるが、おかしい…………… 40.5
 3. 聞いたことがない…………… 12.3
 4. わからない…………… 1.9

- Q8. 次のことばは、漢字ではどのように書くでしょうか。この中からお考えにもっとも近いものを1つだけお答えください。

(1) まず、調味料の「しょうゆ」はどうでしょうか。

- 「正油」／「醤油」
 1. 「正油」と書く（「醤油」は正しくない）…………… 3.5%
 2. 「醤油」と書く（「正油」は正しくない）…………… 54.4
 3. どちらも正しいが、自分では「正油」と書くことが多い…………… 16.8
 4. どちらも正しいが、自分では「醤油」と書くことが多い…………… 14.7
 5. 漢字では書かない…………… 10.0
 6. わからない…………… 0.6

(2) では、食べ物「たまごやき」はどうでしょうか。

「卵焼(き)」／「玉子焼(き)」

- 「卵焼(き)」と書く
 (「玉子焼(き)」は正しくない)…………… 13.6%
- 「玉子焼(き)」と書く
 (「卵焼(き)」は正しくない)…………… 28.2
- どちらも正しいが、
 自分では「卵焼(き)」と書くことが多い…………… 19.8
- どちらも正しいが、
 自分では「玉子焼(き)」と書くことが多い…………… 36.3
- 漢字では書かない…………… 1.3
- わからない…………… 0.8

(3) では、食べ物「からあげ」はどうでしょうか。

「空揚(げ)」／「唐揚(げ)」

- 「空揚(げ)」と書く(「唐揚(げ)」は正しくない)…………… 3.1%
- 「唐揚(げ)」と書く(「空揚(げ)」は正しくない)…………… 72.6
- どちらも正しいが、
 自分では「空揚(げ)」と書くことが多い…………… 2.3
- どちらも正しいが、
 自分では「唐揚(げ)」と書くことが多い…………… 16.9
- 漢字では書かない…………… 3.9
- わからない…………… 1.2

Q9. 「すし」に「回転」ということばが付くと、どのように書いて、どのように読みますか。この中からお考えに近いものを1つだけお答えください。

- 「回転すし」と書いて、「[カイツンズシ]」と言う…………… 7.4%
- 「回転すし」と書いて、「[カイツンズシ]」と言う…………… 35.9
- 「回転ずし」と書いて、「[カイツンズシ]」と言う…………… 8.7
- 「回転ずし」と書いて、「[カイツンズシ]」と言う…………… 47.3
- このことばを知らない…………… 0.3
- わからない…………… 0.3

Q10. あなたは下線部分のような言い方を変だと思いませんか。それとも、そうは思いませんか。それぞれについてお答えください。

まず、(1) についてはいかがですか。

(1) 「8時までにはとても来れない」

- 変な言い方だと思う…………… 63.1%
- そうは思わない…………… 35.9
- わからない…………… 1.0

(2) では、次はいかがですか。

「おなががいっぱいで、もう食べれない」

- 変な言い方だと思う…………… 46.6%
- そうは思わない…………… 52.9
- わからない…………… 0.5

(3) では、次はいかがですか。

「数が多すぎて数えれない」

- 変な言い方だと思う…………… 68.8%
- そうは思わない…………… 30.3
- わからない…………… 0.9

(4) では、次はいかがですか。

「本当かどうか確かめれない」

- 変な言い方だと思う…………… 73.4%
- そうは思わない…………… 25.9
- わからない…………… 0.6

(5) では、次はいかがですか。

「上手に字が書けない」

- 変な言い方だと思う…………… 79.1%
- そうは思わない…………… 20.2
- わからない…………… 0.6

Q11. (1) 次の2つの言い方について、お考えにもっともよく当てはまるものは、どれでしょうか。

- A. 「あの映画には感動した。」
 B. 「あの映画には感動できた。」

- 「感動した」と言う
 (「感動できた」とは言わない)…………… 69.6%
- 「感動できた」と言う
 (「感動した」とは言わない)…………… 3.4
- 両方とも言うが、どちらかといえば
 「感動した」と言うことのほうが多い…………… 21.6
- 両方とも言うが、どちらかといえば
 「感動できた」と言うことのほうが多い…………… 3.6
- 両方とも言わない…………… 1.1
- わからない…………… 0.6

(2) 次の2つの言い方について、お考えにもっともよく当てはまるものは、どれでしょうか。

- A. 「なかなか目的地に至らない。」
 B. 「なかなか目的地に至れない。」

- 「至らない」と言う(「至れない」とは言わない)…………… 51.6%
- 「至れない」と言う(「至らない」とは言わない)…………… 16.4
- 両方とも言うが、どちらかといえば
 「至らない」と言うことのほうが多い…………… 8.6
- 両方とも言うが、どちらかといえば
 「至れない」と言うことのほうが多い…………… 5.6
- 両方とも言わない…………… 15.9
- わからない…………… 1.9

(3) 次の2つの言い方について、お考えにもっともよく当てはまるものは、どれでしょうか。

- A. 「天井に手が届かない。」
 B. 「天井に手が届けない。」

- 「届かない」と言う(「届けない」とは言わない)…………… 91.1%
- 「届けない」と言う(「届かない」とは言わない)…………… 1.5
- 両方とも言うが、どちらかといえば
 「届かない」と言うことのほうが多い…………… 5.2
- 両方とも言うが、どちらかといえば
 「届けない」と言うことのほうが多い…………… 1.4
- 両方とも言わない…………… 0.3
- わからない…………… 0.4

(4) 次の2つの言い方について、お考えにもっともよく当てはまるものは、どれでしょうか。

- A. 「事実を知れてよかった。」
 B. 「事実を知ることができてよかった。」

- 「知れて」と言う
 (「知ることができて」とは言わない)…………… 6.2%
- 「知ることができて」と言う
 (「知れて」とは言わない)…………… 62.8
- 両方とも言うが、どちらかといえば
 「知れて」と言うことのほうが多い…………… 9.4
- 両方とも言うが、どちらかといえば
 「知ることができて」と言うことのほうが多い…………… 20.7
- 両方とも言わない…………… 0.3
- わからない…………… 0.6

Q12. これから、よく似た3つの言い方について尋ねます。

- 「ご理解くださいますよう、お願いいたします。」
- 「ご理解いただきますよう、お願いいたします。」
- 「ご理解いただけますよう、お願いいたします。」

下線部分の言い方について、お考えに最もよくあてはまるものは、どれでしょうか。ニュアンスの違いや場面の違いなどはひとまず考えないで、「言い方として問題があるかどうか」ということを重視してお答えください。

- (1) まず、(1) についてはいかがですか。
 (1) 「ご理解くださいますよう、お願いいたします。」
 1. 場面や状況によっては、このような言い方をしてもかまわないし、自分でも使うことがある …… 52.7%
 2. 場面や状況によっては、このような言い方をしてもかまわないが、自分で使うことはない …… 35.9
 3. 場面や状況を問わず、このような言い方はおかしい …… 9.1
 4. わからない …… 2.3

- (2) では、(2) についてはいかがですか。
 (2) 「ご理解いただけますよう、お願いいたします。」
 1. 場面や状況によっては、このような言い方をしてもかまわないし、自分でも使うことがある …… 56.2%
 2. 場面や状況によっては、このような言い方をしてもかまわないが、自分で使うことはない …… 32.2
 3. 場面や状況を問わず、このような言い方はおかしい …… 9.3
 4. わからない …… 2.3

- (3) では、(3) についてはいかがですか。
 (3) 「ご理解いただけますよう、お願いいたします。」
 1. 場面や状況によっては、このような言い方をしてもかまわないし、自分でも使うことがある …… 39.6%
 2. 場面や状況によっては、このような言い方をしてもかまわないが、自分で使うことはない …… 33.7
 3. 場面や状況を問わず、このような言い方はおかしい …… 23.9
 4. わからない …… 2.7

Q13. 下線部分の言い方について、お考えにもっとも近いものをお答えください。

(1) まず、この言い方についてはいかがですか。

(上司) 「これ、10部コピーとっておいて。」
 (部下) 「はい、ありがとうございます。」

1. 聞いたことがあるし、おかしくない …… 5.3%
 2. 聞いたことはあるが、おかしい …… 25.0
 3. 聞いたことがない …… 68.1
 4. わからない …… 1.6

(2) では、次の言い方についてはいかがですか。

[会議を終えて戻ってきた上司に対して、部屋で仕事をしていた部下が]
 (部下) 「ありがとうございました。」

1. 聞いたことがあるし、おかしくない …… 7.3%
 2. 聞いたことはあるが、おかしい …… 17.7
 3. 聞いたことがない …… 72.8
 4. わからない …… 2.2

Q14. 次の言い方を、どのように解釈するでしょうか。お考えにもっとも近いものをお答えください。

「彼の行動を評価する。」

A：彼の行動は「良いことだ」と判断する
 B：彼の行動は「良いことなのか悪いことなのか」を判断する

1. どのような場合でも、Aの解釈である (Bの解釈はおかしい) …… 39.3%
 2. どのような場合でも、Bの解釈である (Aの解釈はおかしい) …… 18.0
 3. 場面や状況によって、Aの解釈にもBの解釈にもなるが、本来はAの解釈が正しい …… 20.1
 4. 場面や状況によって、Aの解釈にもBの解釈にもなるが、本来はBの解釈が正しい …… 16.8
 5. わからない …… 5.7

Q15. ひと口にいて、日本語は乱れていると思いますか。

1. 非常に乱れている …… 33.4%
 2. 多少乱れている …… 57.4
 3. あまり乱れていない …… 7.3
 4. まったく乱れていない …… 0.5
 5. わからない …… 1.5

Q16. NHKの放送での基本的なことばづかいについて、うかがいます。それぞれについて、あなたのお考えに近いほうを選んでください。

- (1) NHKの放送では…
 1. 流行に左右されず、あくまで本来のことばづかいを大切にすべきだ …… 66.9%
 2. 放送局なのだから、時代に合ったことばづかいを取り入れるのは当然だ …… 17.1
 3. どちらとも言えない …… 15.6
 4. わからない …… 0.5

- (2) NHKの放送は…
 1. ことばづかいや話し方の模範を示す必要がある …… 70.9%
 2. とくに模範を示す必要はない …… 17.0
 3. どちらとも言えない …… 11.7
 4. わからない …… 0.4

- (3) NHKの放送は…
 1. 読み方や声の出し方は、放送人としてきちんと訓練をすべきだ …… 75.3%
 2. 内容が伝わるのならば、それぞれの持ち味で話せばよい …… 17.0
 3. どちらとも言えない …… 7.2
 4. わからない …… 0.6

- (4) NHKの放送では…
 1. 「見られる」を「見れる」という、いわゆる「ら抜きことば」は使わないほうがよい …… 68.1%
 2. 「ら抜きことば」を使ってもかまわない …… 15.0
 3. どちらとも言えない …… 15.2
 4. わからない …… 1.7

サンプル構成

全体	性別		年齢					男					女				
	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
1,241人	571	670	163	207	207	201	463	80	104	106	81	200	83	103	101	120	263
100%	46.0	54.0	13.1	16.7	16.7	16.2	37.3	6.4	8.4	8.5	6.5	16.1	6.7	8.3	8.1	9.7	21.2